

2019年度 アンコール大阪講演会

「 進歩し続ける塗装技術 ～ 今、そしてこれから我々が取り組む改革 ～ 」

主催 日本塗装技術協会

協賛 日本化学会、色材協会、日本塗装工業会、日本防錆技術協会、表面技術協会、日本自動車車体工業会、日本塗装機械工業会、日本工業塗装協同組合連合会、日本塗料工業会、日本塗料検査協会、日本油学会、高分子学会、自動車技術会、材料技術研究協会、静電気学会、日本印刷学会、粉体工学会、腐食防食学会、日本建築仕上学会、日本レオロジー学会、国際工業塗装高度化推進会議、日本粉体工業技術協会（予定）

要旨

日本塗装技術協会は、塗料・塗装に携わる技術者・研究者を対象として情報交換の場を提供しております。「技術の交流、伝承および発展へ貢献する」ことを目的としてより多くの方々に聴講していただけますよう、近年のセミナーから選りすぐり大阪講演会を開催いたします。

我々塗装に関わる技術者は常に、今より価値の高い塗膜の実現と環境負荷低減や生産性向上を成立させる技術に取り組んでいます。今回は、3つの角度から技術開発の取り組みについて取り上げました。

はじめは、環境負荷低減と生産効率化に対する塗料からの取り組みとして①粉体調色システムの開発、次に、技術の定量化と活用として②塗装技術伝承と検査方法、③高意匠外観塗膜開発への評価技術です。そして最後は、生産技術における環境負荷低減と生産効率化への取り組みとして④欧州での技術トレンドの紹介、⑤現場での取り組みと実績、です。

どのご講演も難易度の高い課題に真っ向から取り組み、乗り越え、実用化につなげるまでやり抜いた聞きごたえのある内容です。質問時間を設けており、講演者の方々と直接お話しいただくことができます。ぜひ、この機会をご活用ください！

セミナー委員会 委員長 井賀 充香（日本ペイントホールディングス株式会社）

期日： 2019年7月26日（金） 10:00～16:45

会場： エル・おおさか（大阪府立労働センター） 南館5階 南ホール

〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 京阪、地下鉄谷町線 「天満橋駅」より西へ300m

No.	時間	演題及び講師	アウトライン
10:00～10:10 開会の挨拶とガイダンス 日本塗装技術協会 セミナー委員会			
1	10:10～11:00	「納期対応の実現と環境負荷低減へのアプローチ」 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社 GIU事業本部 第二技術部 部長 石母田 佳和	従粉体塗料は生産設備の都合で小ロット、短納期対応には適していないとされるが、溶剤系塗料と同じような CCM(コンピューターカラーマッチング)を兼ね備えた粉体原色調色システムの開発により「1kg～、2時間以内」を実現した。本講演では、塗装技術の視点を加えてその制御技術と実例について紹介する。
2	11:05～12:05	「造船塗装技能教育の加速化、効率的な塗膜検査技術に関する取り組み」 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 主任研究員 藤本 修平	従来は見様見真似で行われてきた造船塗装の技能教育の加速化を目的とした、3D-VR シミュレータを用いた技能研修プログラム開発について述べる。また、広い面積の塗膜検査を効率的に行う手法の研究について解説する。
昼食休憩 (75 分間)			
3	13:20～14:20	「自動車塗装の質感定量化技術について」 マツダ株式会社 技術研究所 革新研究創成部門 創成領域研究 久保田 寛	自動車塗装の質感定量化技術として、面歪パターン測定やイメージ分光測定による評価／解析技術の概要と具体的な自動車塗装開発への展開事例について紹介する。
4	14:25～15:25	「欧州塗装技術トレンド及び今後の開発方向性」 日産自動車株式会社 エキスパートリーダー 後藤 丈志	Surcar, Automotive circle 等の海外技術会議及び各種ベンチマーク情報より得た最新の技術トレンドを共有すると共にそこから考える技術開発の方向性について紹介する。
休憩 (10 分間)			
5	15:35～16:45	「自動車塗装工程の概要と課題への対応 容積とCO ₂ 排出を大幅に削減する塗装ラインの実用と今後の塗装におけるクルマづくりの動向」 トヨタ自動車株式会社 MS成形塗装生技部 室長 柴田 浩行	わずか数十ミクロンの塗膜で美しい外観意匠や高耐候機能を発揮する自動車塗装について、その生産工程の概要と課題を説明、また 100 年に一度の大変革期を迎え取り組む課題と仕事の進め方の変革と共に、及び今後の塗装の動向について説明する。

プログラムはホームページ <http://jcot.or.jp/> でもご覧いただけます。

(★一般社団法人への移行に伴い2019年度より、ドメインが「jcot.gr.jp」から「jcot.or.jp」に変更されていますのでご注意願います。) 講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報は、ホームページでご確認下さい。

参加要領

参加費： 日本塗装技術協会 及び協賛学協会 会員 16,200 円、非会員 21,600 円、学生参加者 3,240 円

申込方法： 申込書にご記入の上、下記申込先へ原則として電子メール添付にてお送り下さい。(FAX可)

申込先： 一般社団法人日本塗装技術協会 事務局 〒162-0805 東京都新宿区矢来町3番地

TEL/FAX： 03-6228-1711 E-mail： tosou-jimukyoku@jcot.or.jp

お申込み受け付け次第、参加証と請求書を送付いたします。参加費は下記宛てお振込み下さい。

(★一般社団法人への移行に伴い2019年度より、銀行口座 支店、番号が変更されていますのでご注意ください。また、振込手数料は振込人にてご負担いただきますようお願いいたします。)

振込先： 郵便振替 00110-9-77544 名義 一般社団法人日本塗装技術協会

銀行振込 三菱UFJ銀行 神楽坂支店 普通口座 0578987 名義 一般社団法人日本塗装技術協会

銀行振込 三井住友銀行 飯田橋支店 普通口座 7257841 名義 一般社団法人日本塗装技術協会

会場：エル・おおさか (大阪府立労働センター) 南館5階 南ホール (大阪府中央区北浜東3-14、TEL 06-6942-0001)



- ・京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- ・京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m
- ・JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

2019年度アンコール大阪講演会 申込書

「 進歩し続ける塗装技術 ～ 今、そしてこれから我々が取り組む改革 ～ 」

一般社団法人日本塗装技術協会 御中

月 日

(FAX: 03-6228-1711)

貴社名			フリガナ 氏名	
所属				
所在地	〒		TEL	
	E-mail:		FAX	
会員の別 (○で囲む)	当協会会員 16,200 円 非会員 21,600 円	協賛会員 16,200 円 学生 3,240 円	(学協会名:)	
連絡メモ				

複数ご参加の場合は上記メモ欄に所属と共に連名でご記入ください。一括でご請求させていただきます。

*ご登録いただいた個人を特定できる情報は一般社団法人日本塗装技術協会が厳重に保管し、ご提供者本人の許可なく第三者に公開することはありません。